

第1回 まちづくり常任委員会会議録

令和2年1月24日(金)

委員会 議室

○会議日程

- 1 開会宣告(10時14分)
- 2 調査事項
 - (1) 総務財政課所管
 - ① 和解及び損害賠償の額の決定について
- 3 その他
- 4 閉会宣告(10時44分)

○出席委員(6名)

委員長	2番	斎賀弘孝
副委員長	6番	吉原哲男
委員	3番	植村敦
委員	4番	無量谷隆
委員	7番	西澤裕之
委員	8番	高橋秀之

○欠席委員(1名)

委員	1番	富樫直敏
----	----	------

○出席説明員

町長	野々村仁
副町長	岩川実樹
総務財政課課長	藤井和之
総務G主幹	伊藤崇

○議会事務局出席者

事務局長	植村美佐子
事務局主事	満保希来

齋賀委員長

ご着席ください。

ただいまより令和2年第1回まちづくり常任委員会を行います。

まちづくり常任委員会は、委員定数8名のところ1名欠員、1名欠席、6名の委員会で開催します。

本日の調査事項は、総務財政課所管の和解及び損害賠償の額の決定についてであります。

調査事項の前に町長より挨拶をもらいます。

野々村町長

皆さん、おはようございます。

季節柄大変お忙しいところに常任委員会を招集いたしましたこと、また皆さんおいでをいただいたことに感謝を申し上げたいと存じます。

まず、今日の常任委員会の中身ではないんですけども、先ほど、協議の申入れがございました令和2年度以降の幌延深地層研究計画案につきまして、我々、議会にも報告したとおり、熟慮に熟慮を重ねて、この三者協定を遵守することを前提に申入れを承諾した旨を文書で公式に昨日付けで、昨日の午後4時に手交をいたしました。

山口所長始め、職員3名の方々が随行で来られまして、手交式を終えたというところでございます。

今後、どのような形になるか、また北海道がどのような形で回答するか、まだわかりませんが、我々町としては、それぞれ説明会、道民へ15日から幌延スタートに各北海道4カ所を説明に歩いたということで終わって、いつしよかと思っで日程を読んでたんですけども、私が20日から稚内出張もぶつかりましたし、議長も同じですけども、それぞれこの常任委員会の前には手交したいということで、日程を機構さんと合わせたところ、昨日の4時にちょうどタイミングがあったということで、夕べ4時に手交させていただきました。

今後ともいろんな機会捉えながら、機構さんと今後についても協議を進めていきますし、議会としてもご協力をいただきながら、とりあえず9年間の行事予定が今後組まれていくと思いますけども、この計画でどのような形で成果を出しながら、この先どうするかということも含めて、考えていきたいなと思っでございます。

とりあえず、この9年間の中で一生懸命成果が上がる研究をしてほしいということも、昨日お願いをしたところでもありますので、今後とも議会含めてよろしくおんをしたいと思っでいますので、冒頭の挨拶に変えてこのお話をさせていただきます。どうぞ今日はよろしくおんをいたします。

齋賀委員長

ありがとうございました。

それでは早速本日の調査事項、和解及び損害賠償の額の決定についてであります。

説明を求めたいと思っでいます。

岩川副町長

それでは私のほうから、和解及び損害賠償の決定についての件をご説明させていただきます。

以上、相違ないことを証するため署名する。

委員長 齋賀弘孝

以上、記録する。

主事 満保希来